



1968



保瓊翁題目錄

冬之部

初冬

時疫

逸餅

達磨忌

囊口切

落葉

帚花

批把花

棠花

冬菊

冬菊

水仙花

木枯

葦菜

霜

惠比壽海

冬月

少

少程

炭

埋火

楷付

雪

霰

初鯨

千鳥

水鳥

香

紙子付

以巾付

薄團

寒気 神楽 佛名

煤掃 冬栴 節分

冬之享喜 年忌 餅花

歳暮 雜冬

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

伊勢物語卷第五

初冬

神もさるる旅の加賀三 友昌

志ふ事もさるる神楽 了心

神喜月わさるる神楽 親信

か雲や和光向の神喜月 三信

しるるやと三宮礼神喜月 意也

心まぬやと三宮礼神喜月 成重

もさるる神喜月 孫明

十月八日國見神喜月 上吹

神喜月しるる神喜月 倫雨

十月八日國見神喜月 安法

天紀よりして名や垣内人か月
注は五也やわの麻は美ふ
愚目も振て家の貧多派
加友

時雨

日かえんもちれきんう村時
狐も乃木か系もたつ時取外
月影乃星や銚のるや時取
赤土六時取と海もあつた
雪や朝ふ就吟きしか初時取
改者や時取はすれしんさう
月次を志つた時取はさう
常心まや神のむも一志れ
玄勝

雪の是引やらん全時取
福えんま眼やあつた時取
月影やうくの時取のる車
やと足跡をまじりし時取
雪もさやうさうしつた時取
むらさきかえりもさし片時取
又程もや通るおろし時取
月影も大粒も通る時取
あつた時取もさうも梅時取
うらうあつた時取もさう
海かあつた時取もさう
雪もさうあつた時取もさう

吉任 主因 加友 湘和 植野 主因 孝久 一雪 二休 曩 玄勝 政安 同 青山 弘能 正美 同 梅聖 全直 文昌 晴石 未了 新信

いづるや風とあつたか時ぬ 吉則
 時若天知地志ふいし時ぬ 宗後
 若柳ぬらけ髪やう時ぬ 千膳
 人の名もをてんしりしれ小 吉則
 冬そえん雪身表へ山時ぬ 吉弘
 海より雲れ衣のう時ぬ 政成
 松一木海ぬい依依をきし 吉長
 月れ望るるれいぬきぬ時ぬ 夏花
 井風や雲てぬぬぬぬ時ぬ 隆仁
 十月れ十とたて楳時ぬぬ 洞和
 雪らうらり海望る其れ時ぬ 安治
 おんぶいの詩とれ神也時ぬ 吉任

風や以痛とれぬよぬぬ 同
 お筆やととととぬぬぬぬ 友巳
 旅より旅はしととととぬぬ 俊貞
 万世をるあつてうととぬぬ 玄達
 萬泉れ旅や時ぬぬ河津 宗後
 時ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ 川
 風よのうゆきとぬぬぬぬ 当采
 逆子
 いぬの尾がうとぬぬぬぬ 尾
 餅はくぬぬぬぬぬぬぬぬ 俊英
 ゆものるわつとぬぬぬぬぬ 先君
 ぬぬぬ餅もぬぬぬぬぬぬ 玄友

けいもほし年此つのしりぞ
八

よるもむやあふふはれい
宗細

小豆もをもぬら打次解
野子

七磨忌

とてしとち我あのだかた
豆 玉作

木方の清新をそるけり
立也

六蓋口切

蓋の口見さう月生むら
不切

蓋の口まうらととと
西守

くら切れあふり
木玉

口切らしと今の東志
仍信

落葉

ねじもたか
孫明

風のちたは
傳名

ちたは
何氏

持枝の法
支通

落初ハ
遣意

とほろ
因

高ゆの
三林

風と
易心

衣も
忠忠

あは
野子

風も
全勝

高も
意俊

衣の袖は結ばし木乃多由緒

重因

木乃多由緒は衣の袖とてあはれ

守昌

猿の尻はあはれりつるあまふ

弘秀

藤葉衣風吹きし心もぞ悲

正由

海らへしおまのるもあはれん

仍信

風の音つるもいそぎあはれ

政安

朴は木はあまなり七好は深

重為

帰途

多と林と暮ともあはれり

正恒

平立にたの別冬はよもいそぎ

とふふりあがりし物もあはれ

木乃多由緒は花の浮勢様

玄礼

仰るは花は山は伊勢様

成重

花はあはれ思ふあはれ

晴盛

熊谷もあはれ花もあはれ

心計

見とけらるゑやこいあはれ

正守

立派やうもあはれ

就信

仰るは花はあはれ

上琴

木乃多由緒は花もあはれ

友昌

出中らあはれ

吉吉

今初はあはれ

吉良

茶花

木乃多由緒は花もあはれ

徳安

花の冬丸香のしづかろ ハルノコ 細心

葉より枯れ何ぞも花の葉 ハルノコ 宗研

清葉といふ花もかしの葉 ハルノコ 信忠

葉は花に甚る花と云はれし ハルノコ 武政

葉は花をとりし風は花 ハルノコ 信貞

風は花より花をとりし花 ハルノコ 政重

冬草

玉よりよあるかしの葉 ハルノコ 陽心

枯しの花より花の葉 ハルノコ 喜

花枯の葉より花の葉 ハルノコ 喜

とも花の葉より花の葉 ハルノコ 加笑

いとも花の葉より花の葉 ハルノコ 喜

冬枯の葉より花の葉 ハルノコ 因元

冬菊

初菊をとりし菊の葉 ハルノコ 喜因

冬菊の葉をとりし菊の葉 ハルノコ 喜昌

冬菊の葉をとりし菊の葉 ハルノコ 喜

冬菊の葉をとりし菊の葉 ハルノコ 正徳

冬菊の葉をとりし菊の葉 ハルノコ 親信

冬菊の葉をとりし菊の葉 ハルノコ 喜良

冬菊の葉をとりし菊の葉 ハルノコ 賀延

木枯

風よは海あすききさう卯
こがしき鼻をちりてさう
木枯や和歌あきさう松の色
吉長
立也
二休

蔓草

蔓ゆる地越ゆるさう大根の
矢者して引ゆる根も力
ゆゆる根の八雲の石は
何れも引八雲の野人
是そ実名して葉押ゆる
葉もゆるさうさう加友
天
吉
勝定
京後
信
加友

霜

霜は剣志るさうさう地肌
霜も霜ゆるさう縁ゆく
衣八雲松の雪の露
霜もゆるさうさう
霜は天下一ゆるさう
月の舟は帆ゆるさう
霜の剣ゆるさうさう
霜ゆるさうさう
天
友巳
未
眠
酒
吉
幸

さうさうゆるさうさう
霜ゆるさう地越ゆるさう
土然とゆるさうさう
かゆるさうさう霜のゆるさう
安

草の影とつる花をわらわし
 利
 風のそよよと吹くをわらわし
 吉任
 大いんの言はれは剣今ぬ
 不反
 玉露や岩の肩衣と花の物
 元貞
天祥は云
 鳥鳴くをわらわし海跡のけ
 成宣
 大小もろろろろろろろろろろ
 後長
 門のよき言はれは月
 心行
 詩のよき言はれは花の影
 定久
 玉露のよき言はれは花の影
 友巳
 雪のよき言はれは花の影
 忠実
 花のよき言はれは花の影
 重長
 雪のよき言はれは花の影
 守昌

日足入るらわらわし花の影
 正利
 大いけ霜の細やきんく
吾は氏
 守昌
 花のよき言はれは花の影
 同
 花のよき言はれは花の影
 重長
 花のよき言はれは花の影
 加友
 夷海
 花のよき言はれは花の影
 宗群
 高のよき言はれは花の影
 政安
 冬月
 花のよき言はれは花の影
 上春
 花のよき言はれは花の影
 政安
 花のよき言はれは花の影
 三好

水

多衣白珠とちる水く邦

赤

あまのしほをともむ水く

白

水金とちる水の鏡と

白

波の鼓をたひりて水く

白

おとんとしほをともむ水く

白

名もわらうともむ水く

白

波きぬく桶もゆき水く

白

波のいとく鹿とちる水く

白

雷餅やそけく今物水く

白

とらへる水くともむ水く

白

われも水くともむ水く

白

月の影のともむ水く

白

山河は風やけりて水く

白

うらまぬ水くともむ水く

白

水作や岩戸のしり水く

白

鶴廣門の水くともむ水く

白

雲霧もや浦よちる水く

白

水鏡袋もきき水く

白

流らむ水く谷中水く

白

むつと水くともむ水く

白

淀川や八幡加けり水く

白

瀬はなれ口も水く

白

水くともむ水く

白

東海を流るる河川に氷

川原のいづれを氷

氷の流るるを氷

一めんは池の氷

水口とて流るる氷

氷柱

瓦屋の軒のほろ

雪の積るるを氷

雪の積るるを氷

炭

炭竈の火のほろ

火のほろを炭

人の心とて炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

木を焼くを炭

太鼓炭がしせ又しの書 わかれ 洞和
燐油もろろほうお水や炭 一重
電の月の燐炭の 正徳
明も炭も灰なる 季

埋火

雪うとひく あぢ
燐遊存 登傳
うら 冷房
埋火 志計
と 実畔
友の 乃奴
あ ま

寝た ぬ
か 因元

炭 者任

妙 政成

あ か

仰 か

陽 政安

空 清忠

何 仍信

云 和

あ 登出

大 登出

冬を待つ居間をまきこの火

加友

く、楯付 燈南

足曳のふれほくまをり

吉任

打拂ふ袖わきほの飛ぶ

弘置

たけり又大花楓のり

所明

抱て寝後しうんたん

晴章

老の志ういり

仍信

香

雪のうまきみり

二休

かきこふ

山氏

書きよむ

家後

白雪と

立志

花の

信能

田子

定生

最

守昌

最

茂宗

二見

法昌

弓

光今

足利

玄仲

宗

法忠

物

宗

最

正定

最

加友

最

加友

雲のたふしもつる雲女

雲子

娘はかほのかさる雲女

今也

あふれはもはるる雲女

董馬

かいら白蛇の群のふれ雲女

貫

老の持やまをゆり神雲女

駿友

ゆり海ありいゆり雲女

見行

ありとつてありぬ君かも雲女

網和

猶ふよふ天のゆりる雲女

志心

名もさる神ゆりる雲女

三度

雲とありてゆりる雲女

心計

化れのももる雲女

未保

雲女人やまよふ雲女

交

雲のたふし女ももる雲女

交服

氣士の是あふだいな雲女

志心

雲女は白蛇をゆりる雲女

一燭

ゆりる雲女ゆりる雲女

如雲

表れはあふれぬ雲女

柱法

ゆりまは雲女ゆりる雲女

昌把

ゆりは雲女ゆりる雲女

守書

おまやかりは雲女ゆりる雲女

吟哲

三才のゆりる雲女

交能

名堂やゆりる雲女

古事

雲女ゆりる雲女

改安

追記
ゆりる雲女

出帆

降はしむる言はせむいぬ妻後
 雲とのこほしありとさあはる懼
 我み神の綿はりかむる君
 階の糸をいひき綿の影君
 袖をいひききせ返とさる下
 竿よゆりか守や雲は綿先
 是も雲をけつこうかぬ同
 言句よもえのいぬを平雲の心
 雲よ綿やまのいぬを雲心
 松よ海雲や一頁とり心
 われも河のいぬを雲心
 雲よ見よえんこほしむら心
 念念

夫のいひきせむいぬの雲
 松の雲のいひきせむいぬ
 是も身やた雲の影
 大さのいひきせむいぬ
 餅雲も物も木は枝の影
 笑ふ山よ海雲はらま心
 雲は物もまらるは世も雲心
 雲はれや旅人の影と影心
 一婦やうらふ言はれ竹の聲
 娘竹や杖はく雲はと影
 海色の雲をかまの女心
 志らく白ける花や雲心
 蝶蝶
 未未
 半半
 雲雲
 一頁一頁
 雲雲
 友友
 一頁一頁
 雲雲
 常常
 雲雲
 利利

去下三山居てを申しの意
 二二と申て笑て言わしめ
 十二月に於ておかしめ
 白く杖立てる事十の意
 赤く種よふ事十の意
 緑く又言や申すの意
 黄くそのの意をとり
 敷く方と云ふ事十の意
 録じ奇事申す事十の意
 塔室に於て申す事十の意
 十として申す事十の意
 足跡の記置人よ言乃を

光也
 芳也
 海展
 吉則
 孝元
 光弘
 政安
 天佐
 心斗
 九丸
 西弘

足跡の記置人よ言乃を
 行客此跡と云む事十の意
 ありては其の意を
 のりては其の意を
 言や申す事十の意
 云ふ事十の意を
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意
 言や申す事十の意

久利
 吉辰
 三山
 元辰
 政安
 吉言
 吉辰
 吉辰
 信勝
 信勝
 信勝
 信勝
 信勝

霞をいりしりしてまの雲は ま

雲は心おのりも念しき 心

雲は張ちとぬ松の雲は 音ね

西白やとるゝの雲もさ 三信

かゝる雲も是もいり 三信

雲よ雨のたれもあ 三信

雲よさるゝ一方は 三信

ぬれ海がしき 三信

骨のほろろ 三信

かゝる雲も 三信

雲花の 三信

かゝる 三信

雲よ 三信

せん 三信

雲 三信

霞 三信

花 三信

うら 三信

山 三信

ま 三信

時 三信

加 三信

加 三信

加 三信

甲州とありし時雪ふあひて
除雪ふかき月影まじふ心 木玉

大坂一遊へあひらう

難波津の雪やまかしく雪舟
白浪やゆづねの森影照れ
雪をふかき木影心雪舟ふか
雪もくれと心雪舟をいえ
神の雪舟ゆづねとふかき雪舟
懐旧七言
雪舟とふかきゆづねとふかき
月影雪舟のあひらう
待し流る雪舟ゆづねとふか
三城ゆづねゆづねとふか

木玉 子孫 武松 念助 友巳 二休 可重 昌英 加傳

京あふそりゆづねとふかき雪舟 伊氏

大雪ゆづねゆづねとふかき雪舟 若重

去白よ雪ゆづねゆづねとふかき雪舟 弘里

為事此ゆづねゆづねとふかき雪舟 木玉

踏人ゆづねゆづねとふかき雪舟 上琴

馳走ゆづねゆづねとふかき雪舟 俊家

去白ゆづねゆづねとふかき雪舟 光正

梁舟乃ゆづねゆづねとふかき雪舟 忠知

比穀と小野ゆづねゆづねとふかき雪舟 成益

はらゆづねゆづねとふかき雪舟 政安

流雪舟ゆづねゆづねとふかき雪舟 左友
奇塚ゆづねゆづねとふかき雪舟 政安

降雷は殿所是も志す地水 矣
 心あり二乃足踏ま雷打を 政
 雷と数る言ゆや平文の 久
 心入る雷知けとるま 上
 雷の日は柔の湯や志す 海
 人も吹まふける雷の神 眞
 山い雷里おれしねをさ 玄
 吹まふ心雷や向う山木 義
 ゆいまふ神垣はゆるや 年
 雷焼六丹ある木は燃ゆる 如
 ありと地のま市や志す 月
 身ゆいよかひと志す 武

大雷はあまのむすぶ衣小 武立

うつくる城は免う雷打け 吹伯

外宮御殿遷まの玉宿す 時

志すゆあま雷やあまの 弘次

雷とゆる便と多人は鳥の 志

丸けし八杉もせんふと 志

造るを志すやあまの 眞

天の雨はるまやまの 眞

是八又見くまらむあまの 志

飛風のまら八坂のあまの 眞

うと志すまらむあまの 眞

うそおのうろまんといやむ

宗信

かゆいよふ名雲のむろく

松葉

かろきふよりかろく玉雲

宗暉

あふれ原乳の下お玉雲

上琴

播磨平余れく松雲

幸久

より切の茶井湯松雲

吉京

あんとといふ名雲乃ゆり波

至孝

麻引や松原老い玉雲

法石

ゆろそふ六雲を今朝の

普入

竹る布れ名雲小付雲

政重

雲をそむ琴か、松野の板

隆子

十月よゆりやらむ松雲

衣承

碎ぬる名雲けくとする雲

吉則

下戸上戸名雲餅雲

資延

ぬる名雲かんといふ雲

自宣

鯨

延慶乃志名雲はきみんを鯨

友巳

初鯨くくろくといひゆり

政安

塩ふひく麻といふも鯨

氏重

千鳥

つきてゆりやけり松雲

素物

根河よけり松雲

心身

吉砂地や海の前松雲

正慶

かろぬ松雲名く松雲

武弥

石とゆへてとくわき翁の
漢語信條も似て小島
やうやく天念と志は千衛
波の法はえきやあつる
一さうより屏風浦も

水書

夕浪はあま意園の杉小
志海頭とせとるも此
あまの屏風浦より
あまもまじりしる
あまもまじりしる
波も終目至るは衣は紙屋

三危
臥安
因
光重
因元

友貞

系後

一頁

淡武

守昌

因形

飛鳥の家歩平波の杉小

式まう場のあいのり

吉任

飛鳥も世出てあつる鞠の意

卷の相もあつるぬ細小

親信

浪の意もゆへていり

京りてはあつるぬをふ

一帯

浦上よりあつる杉小

政安

鴨もいりあつるし

吉辰

少てはあつる鴨もいり

武立

八歳の鶴のいり

和

骨けもいりあつる鴨小

但世

あつる鴨もいりあつる

定重

池よりしてとこあかき物人あ
鴨先足あわいほほほあ
誓よいてふふ入かまあかり
汁椀の末ほす少名あか
あ中ふほほとああ

雁鳥

あにたふしあああああ
今あああああああああ
ああああああああああ
人のああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ

吉忠 三船 順慶 正実 正守 加傳 未保 因元 心授 順慶 吉守

ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ
ああああああああああ

玄仲 吉則 上琴 武忠 同 正光 正守 正実 定保 武正 政安 友巳

著書此ぬる物も火燒
猶よか小田のり成からた
とみあやしてごんちあつた

系
責任
秋風

紙子付表

寺よりもうしてよわら紙品
銭額より多う一人のこころ
のり力彩む八倍のこころ
さくは和四十八見つき紙子
ちとやゆふふふふふふふ
たぐせんといりうまわ古紙
変倍の衣うふふふふふふ
京師とほくくくくく紙品

仍信
守因
重貞
重之
政安
松菴
宗吉
加茂

徳倉いほあ紙や十二文字
宗吉の維も世福のふと西外
林風内外も宗吉や重貞
俺ぬまふふふふふふふ
来りうま物もあふふふ

政安
伊氏
元武
重重
宗畔

从巾付蒲團

山よりあふふ信紙以巾小
いふあはれあふふふ角以ふ
ちりあふれ宗吉や風紙紙
志りあふやふふ从巾紙山風
宗吉の物ふふふふふ

重貞
重信
重
重
重

宗吉

口まてもあつゆをたす
 清衣しねぬらん海のかた
 歌葉の重きとさる土太根
 歌と重き加わておし
 凡の君子世も甘く
 孫子よしとさる老の重
 ひき抱く重きと後
 多の身又凡もさる人重
 落さるしとさる重
 凡の身いふとさる重
 足力ひく重きとさる重
 口まてもあつゆをたす

神楽

浪はるも神楽ひりし
 さ波たつとさる重
 神集めよと集る神
 大なる神楽重
 焼くも湯金たつ神
 後あけて法然の神
 波の多も神楽の川
 神楽重くも重きとさる
 神楽重くも重きとさる
 神楽重くも重きとさる
 神楽重くも重きとさる
 神楽重くも重きとさる

夢園たの乃方あるがうは

松人

佛名

写るるる也則ん則佛名

若生

皆具成仏名唱ふ也は妙小

志七

師名唱ふ也は身持仏堂

松伯

一はよとある也は三世諸仏名

吉七

煤拂

才の并まかれしう煤拂

若生

約し也は千の係煤拂

友昌

煤もあるこうもう也は性心

意川心

煤もあるこうもう也は性心

意川心

才の并まかれしう煤拂

若生

冬梅

冬梅もあるこうもう也は性心

風也

陰の陽光也は也は性心

若生

梅もあるこうもう也は性心

友巳

冬の梅もあるこうもう也は性心

友貞

冬の梅もあるこうもう也は性心

友貞

冬の梅もあるこうもう也は性心

友貞

冬の梅もあるこうもう也は性心

友貞

節分

此の節分也は也は性心

永子

むら竹のたやまをむし繪守 尹法

終すも悪魔の作の記 悪魔 貞宣

し、歌うちほひむも極や宝和 福森氏 光茂

うしほくを味味とある豆 豆 友貞

節ふの果物やまはらうりあ 果物 上吹

はむ年ふ節多れあつる物 物 同

多人あつるあなうり世の年忌 年忌 才吉

つりああふよしきとあつる年忌 年忌 五圃

兄とつらとつあましとく く 巻

兄とつらつは是かゆ は 一入

年内立春

年終の内は昔の隣やとあつる あつる 五圃

うまぬさのむし むし 持彦

昔の年の世ま 世 湖吉

冬立つりああし あ あは

年の内よま ま 同

年の内や片 片 去則

年忌

親よ昔とつらん つらん 一帯

傍後と と 去也

餅茶

餅茶よ よ 好凡

餅茶 茶 賢中

餅茶 茶 才吉

解衣のそ名やいづ米極 正光
 うすも若くはひらけ餅紙ひ 二休
 うすは肉よきふ事さう餅送 加傳

歳暮

昔もあし今よりさむ年暮 菊舟
 せめて残る白髪交りしは 正伯
 年の疏や鏡拂ひてあはれ 賀植
 去る時ぞしり果はる年暮 可香
 幼年ぬえされともさ 元貞
 詩はうりし情もさるはうら 政安

午の年よ一おあつと他
 光陰平傍りては年暮 長氏 守昌

まげてあまも世く大世の 信能

風善の物枝は燭燭と光
 夜ふとくとつ時

らいつくもはつと年暮 昌英

かう竹の世のる年暮 季吟

暦もえ志はけりり年暮 惟中

あゝあひすもあふ年暮 善 日

極月毎日りもまほし の

ゆきのあかきと力流 不 仍信

善約や年暮あふ 同出 善作

こゝより娘よとけ 善 凡松

水西鏡のる新 善 正光

年八月廿五日... 大味日 信睦
 一... 調和
 十二月... 交昌
 廿... 去悪
 之... 二休
 月... 吉辰
 詔... 吉辰
 系... 吉辰
 之... 吉辰
 西... 吉辰
 陰... 吉辰
 傍... 吉辰
 信... 吉辰

雜文

神國... 西武
 出... 利
 門... 仍信
 吞... 去則
 武... 去則
 進... 良雅
 御... 友巳
 有... 因元
 飲... 宗時
 冬... 宗時
 神... 宗時
 加... 三林

誰波めお抱やけ母冬より きき

まはれたのお白きまゆし二月 よき

うきほや人のあの花の香 あま

雪やう八葉は白を冬籠り 一頁

冷しや師をよ月夜を念松 風松

あまの眠やまよふをちたき 大岡

大陽輝れかゆも天をけ著 必程

骨むのて冬守人をも後子 業彩

まとい冬の日足やあし 加席

あはれとあるうさよりものを あはれ

あはれとあるうさよりものを あはれ

いさよく世をうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

あはれとあるうさより あはれ

句引

伊勢山田

大宮大中臣 精長百 慶彦渡會氏 十句

同氏 周彦百 末為同氏 蜀

同氏 末重三句 末保同氏 三句

荒木同氏 武清同氏 武珍同氏 廿句

同氏 武在同氏 武辰同氏 八句

同氏 重頼二句 用久中西氏 十五句

林氏 氏益益氏 元武普門院 七句

綿屋同氏 吉長同氏 養室同氏 六句

三寶寺 僧昭同氏 吉政同氏 二句

同氏 吉任同氏 文巳同氏 六句

村野同氏 正貴龍 熙芳同氏 六句

同氏 悠近同氏 悠知同氏 二句

核山同氏 家久同氏 末吉同氏 五句

喜早同氏 清忠同氏 伊氏同氏 廿句

田中同氏 忠行同氏 盛政同氏 一旬

味谷同氏 政次同氏 久利同氏 二十句

野村同氏 幸向同氏 定重同氏 十句

宮崎同氏 勝正同氏 友貞同氏 廿七句

下中同氏 文伴同氏 尹清同氏 七句

綿屋同氏 吉廣同氏 光重同氏 三句

川口同氏 宗弘同氏 光教同氏 蜀

俵同氏 文昭同氏 夢遊同氏 七句

山添氏 忠直 五句 吉秀卷 蓮秀 四句

鳴子氏 竹犬 一旬 大西氏 正連 一旬

山口氏 益隆 一旬 堤氏 盛春 五句

大世古 重貞 一旬 綿氏 末隨 二旬

加納氏 友納 五句 中井氏 卜成 十句

武藤氏 未濟 十句 中村氏 加序 四句

久保倉 弘里 十句 松尾氏 弘次 十句

岡氏 弘次妻 蜀 吉矢也氏 久利 三句

自現卷 念助 六句 松尾氏 二休 卅句

池田氏 盛勝 二句 小林氏 吉起 卅句

赤卷氏 宜德 五句 寶正卷 玄達 八句

金卷卷 吟哲 九句 中西氏 常治 五句

苗君卷 宗安 二句 野氏 國頼 三句

丹羽氏 尚辰 二句 少坊 快惠 二句

真田氏 吉辰 七句 西福院 盛也 十句

益中氏 正益 二句 三河氏 政采 三句

三村氏 安通 二句 賀納氏 友清 二句

高向氏 一友 三句 增山氏 元茂 二句

石原氏 志計 五句 不動院 頼養 二句

山本氏 貞次 三句 松尾氏 弘秀 二句

西福院 盛傳 三句 中野氏 成伯 八句

在江氏 國光 一旬 谷氏 嘉國 一旬

藤田氏 加求 五句 得壽卷 傳石 二句

杉木氏 吉延 二句 中西氏 久次 四句

周吟菴

活道 十句

忠武 二句

長谷川氏

玄勝 八句

堯音 三句

松本氏

光保 四句

正房 二句

山口氏

所望 二句

五斗都 二句

小田氏

光次 二句

玄理 二句

松尾氏

弘慶 二句

重長 二句

綿中氏

文吉 一旬

清房 一旬

山田氏

好昌 一旬

金石 一旬

松木氏

吉盛 一旬

勝忠 五句

撰者

加友 卅句

同内宮

菅木田氏

定清 三句

定澄 一旬

宇治住

山本氏 一旬

助友 三句

明王院

朝熊岳

政安 百五十句

堺氏

重正 七句

藻虫 四句

竹内氏

元貞 六句

俊笑 三句

鳥羽住

信勝 一旬

弘能 三句

中野氏

重昌 廿句

川崎

村雲屋

吉則 五十句

正清 五句

中尾氏

正直 二句

一之瀬

子虎

卷三

報光寺

玄鎮 十句

下村氏

安治 廿九句

田丸

田丸池邊相可射和

次貞 三句

池邊西村氏

重春 廿三句

池邊

政光 二句

相可村田氏

武陳 一句

射和竹内氏

三林 廿句

丹生

賀茂氏

弥明 十句

丹生住

惠迪 二句

丹生住

幸影 二句

梅下

幸賢 二句

丹生住

改由 二句

丹生住

無底 二句

平忠氏

正賢 二句

丹生住

幸久 一句

丹生住

幸行 二句

檜垣氏

貞常 二句

松坂

弥勒院

教翁 十句

竹内氏

仍信 七十六句

竹内氏

三信 十句

三井氏

弘重 五句

置山氏

三好 十句

松坂住人

十句

常念寺

昌把 十句

林井氏

宗畔 廿句

坂井氏

友昌 廿句

青木氏

立也 廿八句

麻眼寺

永学 十句

小津氏

信能 二句

山際氏

正弘 十句

中里氏

敦昌 十句

西藤氏

順慶 十句

常念寺内

宗順 九句

二高岩氏

宗度 五句

津島下

良雅 五句

坂井氏

良元 一句

濱田氏

求笑 十句

戶後氏

玄智 四句

坂木氏

有久 三句

重良 五句

日氏

重昌 五句

松村氏 直重 百 一夢 蜀

應秋院 林的 百 鳥谷 二寬 百

西定菴 南負 吾 樹教寺 惠傳 百

本覺寺 教壽 吾 隨林院 祈也 百

三井氏 蔣女 吾 井吉氏 口任 百

折戶氏 心則 吾 久壽寺 了山 吾

下倉君氏 宗弘 百 隈野下 道秀 百

松沼氏 吉第 二 次方氏 俊貞 百

吉松氏 吉弘 二 孝 重起 百

向安尾 存 的 吾 仲屋氏 交仁 百

松沼氏 家里 反 中川氏 幸友 百

堀田氏 交雪 百 常念寺内 教順 百

村田氏 直次 百 丸成 朋廣 百

雲山院 直治 百 為持氏 好之 百

吉堂寺 青山 五 我似菴 天隨 百

松野 沢海 吾 雲山院 任世 百

為持氏 吉之 吾 川口氏 去隆 百

大眾氏 宗安 百 粟山氏 心成 百

為持氏 心方 吾 松沼氏 三弥 百

松井氏 善孝 百 須ヶ谷氏 遊也 百

米本氏 心行 吾 松沼氏 良祐 百

甲中氏 榮三 吾 九品院 及頼 百

市場庄 政成 吾 平尾村 基重 百

竹山氏 仍信 吾 春陽軒 加傳 百

仍信 吾 廿方

山ノ下氏 守之 守勝 男

伊豆氏 三俊 友友 翁

世吉氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

伊豆氏 三俊 友友 翁

悟トウ 智南チナン 一石

四日市

山中ナカノ 俊家トシノ 四石 吉宅キチノ 一石

篠原ノノハラ 定修サダメシユ 一石 兼頼カネタカ 一石

尾石

三好ミヨウ 光弘ミツヒロ 八石 二兎ニウ 一石

多喜屋タキヤ 吟和インワ 一石 友下トモジメ 一石

三石

悪谷アクヤ 和計ワケイ 三石 未調ミツジョウ 一石

同ドウ 宣正ノボシタカ 二石

遠及

樹門ジュモン 三石 因杞インキ 一石

宗真ムネマコ 一石

駿河

篠木ノノキ 明森アキラノ 一石 利昌トシチカ 一石

森ノリ 政之マサノ 一石

豆石

下田シモタ 先胤サキノ 二石 利光トシヒコ 一石

相石

片岡カタガキ 雪治ユキヂ 一石 重真シゲマコ 一石

武州江戸

室ムロ 吉當ヨシトウ 一石 玄札ゲンシツ 一石

井上イノエ 盛勝モリカト 二石 心計ココロケイ 五石

新山ニウヤマ 親信チカノ 一石 調和テウワ 一石

野田氏 飛入 方 貞良 八分

小田氏 亨重 方 勝定 八分

松村氏 心恒 九分 正守 五分

本林氏 紅圍 方 不切 六分

平松氏 一分 二分 任心 三分

野田氏 宗崖 方 体也 二分

森多氏 整志 二分 明重 十分

夏口氏 生相 方 志計 二分

菅原氏 加友 十分 心寬 十分

椋梨氏 一雪 九分 守昌 十分

荒井氏 忠知 九分 立志 十分

岩付氏 風也 二分 不卜 六分

多賀氏 不学 方 若心 十分

西村氏 守昌 方 正利 二分

津田氏 貞宣 十分 不屑 方

山口氏 宗朋 方 未得 二分

大橋氏 美孝 方 一口 九分

玉井氏 可直 方 幸勝 二分

宇田氏 昌利 方 吉春 方

大橋氏 永氏 八分 心計 二分

中村氏 吉辰 五分 心定 十分

赤塚氏 資中 十分 可遊子 二分

久米氏 忠重 方 笑孫 方

日代氏 笑孫 方 細心 八分

成清 九勺 平野氏唐方 古算子 十勺

清永氏 青云 四勺 伊奈氏 榮二 二勺

大井氏 重因 世勺 山形中 成重 十勺

十賀氏 定久 七勺 忠明 七勺

江戶氏 正續 一勺 平野氏 重勝 一勺

家康氏 家昌 一勺 江戶住 森嶋 一勺

山手氏 正永 一勺 墨江氏 蛭口 一勺

山本氏 家喜 一勺 山口氏 信章 勺

山手竹田氏 武次 一勺 佐藤氏十戈 久罽 一勺

長坂氏 房之 一勺 江戶住 与市 一勺

早瀬氏 定次 一勺 越智氏 吉次 一勺

新多氏 伊代都 一勺 板橋氏 茂宗 一勺

蛭谷氏 霜虫 一勺 江戶住 蝶々子 九勺

山本氏 武直 罽 一勺 川田氏 信安 一勺

山口氏 友之 二勺 芝住 虎之助 一勺

坂倉氏 滿展 十罽 海保氏 重信 罽

岩付之住 木玉 六勺 本庄云非多勺 信迷 一勺

小田原氏 清忠 二勺 尾張中 吉次 二勺

某師 澁月 一勺 氏谷 正勝 一勺

新崎氏 久宗 一勺 森氏 正則 一勺

川原氏 宣胤 罽 一勺 田井氏 本久 一勺

淺谷氏 未種 一勺

上総

下総

富正 二万 重勝 一万

常州

勝重 二万 繁次 二万

下野

元志 二万 連笑 一万

玄伸 二万 清昌 二万

不省 二万 易心 二万

吟祭 二万 衆樂 二万

喜勝 四万 慈癡 二万

無下 二万 重釣 二万

永正 二万 宗吉 二万

眼字 二万 一文 二万

真心 二万

奥 二万

一車 六万 如白 二万

凡松 二万 章利 二万

紫塵 二万 勝盛 二万

武純 二万 治尚 二万

守常 二万 吉武 二万

乾宅 二万 英經 二万

出羽

吟習 九万 次本 二万

直政 五万 昌次 二万

云陳 一万 定次 二万

吉野住 山田氏

皇間住 山田氏

宇都宮 山田氏

朽木住 山田氏

壬生住 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

同所 山田氏

慶入尾村氏一石

信石

竹都信濃住一石

行治奥山氏一石

甲石

一方奥山氏二石

飛彈

立園功力菴一石

美濃

近藤美濃住一石

光通赤松氏一石

常友三石氏一石

政重坐栗氏一石

重自改集浦一石

淺武森氏一石

加賀

武頼金田氏廿石 因元日所一石

家貞中村氏六石 恙心樋口氏一石

無蠅加賀住一石 一煙宇野氏一石

正好加賀住一石 未存加賀住一石

安之加賀住五石 吉重金沢早川氏一石

可九加賀住九石 信貞松永氏一石

一味美濃氏一石 全無村塚氏一石

一厚橋本氏一石 可入松永氏一石

董典大腰住四石 田之文腰一石

望友加賀住一石 一葉加賀住一石

昌方尾張中五石 可之藤田氏一石

能登

傳茂尾西氏一勾 友林尾中氏一勾

越後 良景松氏一勾

連通一心寺一勾

越前 園長一葉寺一勾

吉英福井住江氏一勾

好治坂本氏一勾

若狹

宗信一勾

近江 宗俊大津井上氏一勾

心真幸津川氏一勾

妙園四屋貞念院一勾

宗俊日所氏一勾

願心日所氏一勾

蟬子腹所喜長交流軒一勾

實次八幡住山津氏一勾

伊賀 重急井内氏一勾

一樂一勾

山城京 重基東海氏一勾

西武鎧屋四勾

自白千賀氏五勾

正由宮川氏三勾

湖春觀世七勾

可雲田中氏一勾

秋凡子三井氏六勾

玄保杉附氏 聖光寺一勾

勝安寺印

光正 四

正伯

四

福森氏

光義 五

立靜

一

山田氏

賀種 六

瑞心

一

西山氏

正行 一

隨流

一

山只氏

宗文 二

三順

一

尺氏

雲碩 三

直室

一

西村氏

正永 一

重基

一

倭俄氏

自宣 二

好之

一

豐會氏

元辰 四

等刻

一

京之住

自季 一

梅盛

一

松山氏

尚采 二

泰園

一

尺氏

翁丹 一

安成

一

木戶氏

吉勝 一

常閑

一

及田氏

乘秀 一

似雲

一

柴田氏

尚道 一

真室

一

山崎

卜琴 六

宗經

一

棋津

大友住

三友 二

詮房

一

日住

武之 一

重良

一

日

正勝 二

廣政

一

日尾張

友久 一

政也

一

西山氏

一幽 一

河内

木重氏 重氏 万 依重 万

檀住細谷氏 資延 万

泉州

比村氏 芳重 万 勝明 万

勝章 万 氏重 万

勝鷹 万 正行 万

紀長

利之 万 正長 万

種清 万 安重 万

一笑 万 元奇

如鐘 万 一入 万

植野氏 万

讚長

丸老住 一竹 一 万 一十 一 万

未判 万

伊豫

松山重川氏 一滴 一 万 是菴 万

石田氏 畫水 一 万

播磨

延之 二 万

備前

左順 万 惟中 十四 万

了春 万 同妻 一 万

備中

永美氏

吉辰二勺 三治勺

同佳清永氏

野子五勺 勝友一勺

猿急氏

負育一勺 正良一勺

三次住未氏

重增十勺 備後 山畏 助資二勺 玄佐 一勺

條名氏

安藝六勺 有春一勺 周甫 一勺

片山氏

周防 伯耆二勺 干勝 一勺

山崎氏

道標一勺 長門 一十勺

秋住加地氏

加慶 二勺

福原住和氏

筑前 利 二勺 貫 一勺

同兒玉氏

遊菴 二勺 長平 一勺

同古川氏

三益 二勺 重直 一勺

博多服下氏

不及子 一勺 業續 一勺

同新崎氏

久宗 一勺 吉治 一勺

同日佐氏

曳白 一勺 清意 一勺

同信谷氏

如雲 六勺 克重 二勺

同氏

克明 五勺 重成 一勺

同服下氏

是信 二勺 重守 一勺

同米屋氏

寶重 一勺 信真 一勺

肥後

阿蘇宮板梨氏

惟延 二石

肥前

平戶住吉野氏

偷闲 十石

薩磨

大山氏

是闲 一石

豊後

立石住

移 罗

中津住飯田氏

三範 一石

豊前

小倉住登良氏

正義 十石

尺代

露石 二石

山田氏

渡及 一石

重長 二石

是歲寬文丁未我 神宮
 造督遷御之式年斯迫恭
 奉台命伐株大杉山良茂
 而着宮河岸於焉乎神民
 等喜遇泰平之秋手舞之
 足踏之踴然搜入宮地或
 鼓或笛行歌行和孰擇老
 少兮頰被之中紅豈論貴
 賤兮手繼之帶班曳也曳
 也曳射來射來伊勢耀之
 号原在于茲矣干皆這集
 偶成未始期之以名焉其

冥應不可測，吊感其奇絕。
 遂為之跋，在兵千皆。葛集
 五史，據來，據來，野，安，野，上
 題，之，牛，懸，之，帶，與，史，西，史
 也，之，賊，姪，之，中，以，皇，前，貴
 於，天，當，行，想，行，時，應，野，夫
 寬文八戊曆五月下旬
 洛陽五滌寺町通
 中野五島左衛門尉開板
 皇曆寬文丁未春
 皇宮





